

山武市

(平成 31 年 4 月 19 日)

海水浴場の国際環境認証「ブルーフラッグ」  
2019 年認証を取得しました

お世話になっております。

標記の件について、別紙のとおり送付いたします。  
よろしくお願いいたします。

**【問合せ先】**

わがまち活性課 観光振興係  
電話 0475-80-1202

山武市経済環境部わがまち活性課  
発表

平成 31 年 4 月 19 日

## 海水浴場の国際環境認証「ブルーフラッグ」 2019 年認証を取得しました

山武市では、美しい本須賀海岸を次世代に継承していくために、持続可能な社会の構築に向け、海水浴場における環境保全、環境教育を推進する国際環境認証「ブルーフラッグ」の取得に向け取り組んできました。

このたび、平成 30 年 10 月から手続きを進めてまいりました申請について、認証取得が決定いたしました。

認証取得を受け、今年の海水浴場開設期間中において、本須賀海水浴場に認証を取得した年「2019」が記載された「イヤーフラッグ」を掲げることができます。

また、海水浴期間中を中心に環境教育に関わる各種取り組み等を実施していきますので報告いたします。

### 記

ブルーフラッグ認証取得海水浴場：本須賀海水浴場（山武市本須賀 3841 番地 124 地先）

※千葉県初、日本で 3 ヶ所目（神戸市須磨海水浴場と同時期）の取得

海水浴場開設期間：平成 31 年 7 月 13 日（土）～平成 31 年 8 月 25 日（日）

※ 7 月 16 日（火）～7 月 19 日（金）は閉鎖

今後の各種取り組み：別紙のとおり

その他：ブルーフラッグ全般に関わる発表については、別紙 FEE Japan 作成  
報道資料をご覧ください。

問い合わせ：山武市経済環境部わがまち活性課観光振興係

TEL：0475-80-1202（担当：鈴木、塚）

## ブルーフラッグ認証取得に伴う今後の各種取り組み

平成 31 年 4 月 19 日

ブルーフラッグ・プログラムでは「環境教育と情報提供」、「水質」、「環境マネジメント」、「安全性とサービス」についての厳しい基準を通して、ビーチにおける持続可能な発展を目指しています。

海水浴期間中、本須賀海水浴場がブルーフラッグの基準を満たせるよう以下のとおり各種取り組みを実施します。

## 【環境教育と情報提供】

海岸利用者や地域住民の方々の、ビーチ環境に対する意識が向上するための環境教育活動を実施します。

## 環境教育活動（仮）：

- 座学
    - ・ブルーフラッグセミナー
  - 現地学習
    - ・ビーチクリーン ・海の植物観察会 ・海の安全教室 等
  - 日程
    - ・平成 31 年 7 月 6 日（土）、7 日（日）（予定）
- ※詳細が決定しましたら市ホームページ等でご案内します。

海水浴場内には、海水浴場の利用規定や 4 つの 카테고리に関する説明等ガイドラインに基づく情報を掲載する掲示板を設置します。

## 【水質】

海水浴場内の水質を上質に維持するため、ガイドラインに基づく水質測定を実施します。

## 【環境マネジメント】

海水浴場を含む沿岸部の自然環境を維持するため、清掃管理、トイレ環境の整備、無許可車両の進入や不法投棄の禁止等法令に基づいた対応を進めます。

## 【安全性とサービス】

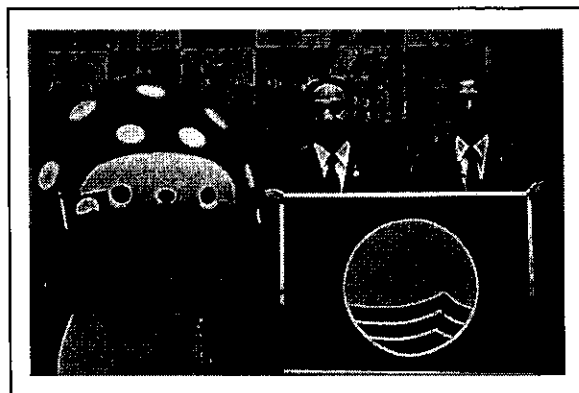
海水浴場の安全対策として、ライフセーバーの設置、地震等緊急時の避難勧告発令や情報提供、トラブルや事故の防止に努めます。

また、海水浴場を利用したいと思う誰もがアクセスできるよう、通路の整備、水陸両用車椅子の配置、遊歩道の整備、障がい者用トイレの設置等を行います。

以上の取り組みを、行政・住民・海に関わる関係者等が連携して進めてまいります。



本須賀海水浴場写真



認証取得決定を受けての写真

2019年4月19日

## Press release

日本で新たに2つの海水浴場が国際環境認証ブルーフラッグ\*を取得！  
ーアジア2番目となる韓国でもブルーフラッグビーチ誕生

令和元年となるこの夏、日本で国際認証を受けた4つビーチにブルーフラッグが掲げられる。

2019年、1月の国内審査委員会を通過し、4月の国際審査委員会を経て、あらたに神戸市須磨海水浴場と山武市本須賀海水浴場の2つが認証された。

日本では2016年に、鎌倉市 由比ヶ浜海水浴場および福井県高浜町 若狭和田海水浴場がアジア初として認証取得し、毎年の厳しい審査を受け認証継続している。

ブルーフラッグは世界で最も歴史ある環境認証で、1985年にフランスで最初のブルーフラッグが掲揚されて以降、現在は世界45か国4,559のビーチ・マリナー・観光船が認証を取得しブルーフラッグを掲揚している。取得には、地元自治体およびビーチの管理・運営者が中心となり、地域住民や利用者と協力し、「環境に関する教育と情報公開」「水質」「環境マネージメント」「安全とサービス」に関する33項目の基準を満たす必要があり、認証を取得することはもとより、毎年の厳しい審査を受けて継続することが非常に難しい認証となっている。ブルーフラッグを掲げるビーチは、だれでも安心・安全なビーチのしるしとして国際的な信頼を得ているといえる。

ブルーフラッグ認証プログラムは、SDG'S=国連が目指す持続可能な世界を実現するための17のゴールをすべて満たしており、FEEではUNEP（国連環境計画）、UNW TO（国連世界観光機関）等との連携のもと、世界各国においてこのプログラムを推進している。

### \*国際環境認証ブルーフラッグ

国際 NGO FEE (Foundation For Environmental education=環境教育基金) \*\*が運営するビーチ・マリナー・観光船にかんする環境認証。1985年にフランスで誕生し、「世界のビーチ・マリナー・観光船 共通の安全のしるし」とされ、ヨーロッパを始め世界45か国、約4,500カ所で取得されている。  
<https://www.blueflag.global/> (最新の認証情報公開は5月22日予定)

### \*\*国際 NGO FEE (Foundation For Environmental education=環境教育基金)

環境教育を通じて持続可能な発展を目指す非営利団体。77の国と地域(2019年3月現在)で、ブルーフラッグ、エコスクール、グリーンキー、森林環境教育 LEAF、YRE の5つの環境教育プログラムを国際的に実施している。

<http://fee.global>

<http://www.feejapan.org/>

FEE およびブルーフラッグについての問い合わせ先

特定非営利活動法人 FEE Japan ブルーフラッグ事務局 TEL: 03-5212-1528

[info@feejapan.org](mailto:info@feejapan.org)